

会報



2010.7

社団法人北海道電業協会



目 次

「電業」への想い	1
.....札幌市都市局長 宮 浦 哲 也	
(社)北海道電業協会第44回通常総会	
(社)日本電設工業協会北海道支部第54回通常総会	2
電業協会・電設協北海道支部合同懇親会	3
通常総会ご挨拶	
(社)北海道電業協会 会長	
(社)日本電設工業協会北海道支部 支部長	4
吉 川 照 一	
北海道電業協会スローガン	5
(社)北海道電業協会役員	
(社)日本電設工業協会北海道支部役員	6
ご挨拶	
.....(社)北海道電業協会専務理事 小 川 孝 樹	7
代表者変更ご挨拶	
.....日本リーテック株式会社 北海道営業所 所長 高 山 春 夫	7
東光電気工事(株)北海道支社常務取締役支社長 清 水 秀 二	8
(株)でんこう 代表取締役 佐 藤 義 明	8
平成22年度 技術・安全衛生基礎教育講習会	9
平成22年度 1級学科電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会	10
平成22年度 安全大会	11
—シリーズ— 1/212だより	
・「すてきな笑顔と花のまち」～東神楽町～	
.....東神楽町長 川 野 恵 子	12～13
・「森と大地の夢を育むまち」～厚沢部町～	
.....厚沢部町長 洪 田 正 己	14～15
現場からこんにちは	16
厚生委員会行事報告 ゴルフ部会	17
顧問会	18
業界だより、理事会・三役会・委員会報告	18～21
事務局日誌	22
編集後記	



『電業』への想い

札幌市都市局長 宮浦 哲也

この4月に都市局長に着任した宮浦です。

北海道電業協会の皆様には、平素より札幌市の建築行政に対し多大なるご支援とご協力をいただいております、この場をかりてお礼申し上げます。

さて、この機会に札幌市の事業紹介をさせていただくのが通例なのですが、協会の御名にある「電業」という文字に、つい引き寄せられた結果、全く個人的な思い出について書かせていただくことにしましたのでご容赦ください。

昭和30～40年代半ばまで、私は空知管内の炭鉱都市の縁辺部に住んでいました。父親の勤務先は、かつて小さな町にも必ず一つずつあった「電業所」です。

小さな街なのですが、当時は国鉄の駅はもちろん、商店街や映画館までありました。その街の真ん中に電業所はあり、社宅は事務所に併設されているものですから、家の向かいは映画館で、隣近所は商店街、駅まで歩いて数分のまさにコンパクトシティといったところです。

ところで、当時の電業所は小規模な工事や補修はもとより、料金徴収に至るまで父は一人でこなしていました。外勤の際の出で立ち、作業服にヘルメットと安全靴、各種の工具を備えた皮の腰ベルト、さらにはロープと補修用の電線を肩からタスキ掛けにして出勤、といったところです。

仕事に使う移動手段はオレンジ色のオートバイです。天気の良い時には、バイクの後ろに乗せてもらい、砂煙をあげながら砂利道を走り目的地に着くと、補修作業が始まります。当時はほとんど

が木製の電柱であり、ロープを使いながら手際よく登ると、カットされた電線や交換した部品を下に落とします。それを拾い集めるのが私の仕事であり、帰りには、時おり山菜採りのオマケ付き、というのがご愛嬌です。

街に一人の総合性を備えた「電気屋さん」でしたが、あらためて考えると、たとえ一人でも役割を定めればできることはある、という地域サービスの原点がそこにあるように思います。高度成長時代においては、発展を期待して一度は隅々までのネットワークを構築したのですが、その後、効率化のもとに集約という名の後退が進んでいます。今は電力会社においても分業が進み、「電業所」の名もなくなりました。人口減少と高齢化が進む中で、限界集落とか、地域に一人の医者や弁護士などの問題が取り上げられています。地域に一人、が最後まで続くのは分業の難しい警察だろうと思っていたのですが、その派出所ですら、その継続はもはや風前の灯です。

業務の細分化とアウトソーシングが進む中であって、北海道電業協会の名の中に「電業」の文字が掲げられているのは頼もしい限りです。

「電業」という一見古めかしい響きを持つ言葉には、地域貢献や公益に繋がる大切なDNAが込められていると勝手に思い込んでいるものですから、そんな想いを述べさせていただきました。科せられた使命と社会の求めをあらためてご確認いただくことをお願いしつつ、北海道電業協会のさらなるご発展を祈念する次第です。

社団法人
社団法人

北海道電業協会 第44回通常総会 日本電設工業協会北海道支部 第54回通常総会



平成22年5月13日(木)午後3時30分よりホテルニューオータニ札幌において、電業協会第44回・電設協道支部第54回通常総会を開催、会員代表者のほか営業責任者等が出席した。総会に先立ち「協会功労者表彰」を行い、吉川会長から表彰状と記念品が授与された。

○表彰者

・北海電気工事(株)

取締役営業管理部長 元永 修 様

開会にあたり吉川会長・支部長から当業界の経営環境及び協会運営についての挨拶（4ページ参照）があり、「新年度も厳しい経営環境を乗り切る

ため、会員相互の信頼と結束で課題克服に努めていこう」と呼びかけた。引き続き議長として議事の運営に入り、最初に議事録署名人に関場憲明氏（安達電設(株)）と瓜生道夫（㈱クリハラント北海道支社）を指名し議案の審議を行った。

第1号議案 平成21年度会務・事業承認について

第2号議案 平成21年度収支決算承認について

第3号議案 平成22年度事業計画（案）承認について

第4号議案 平成22年度収支予算（案）承認について

第5号議案 平成22年度スローガン（案）の採択について

当協会運営及び事業実施の基本として、諸課題の克服と将来の業界の地位向上を掲げ、スローガン（5ページ掲載）が提案された。

第6号議案 役員の一部改選について

別紙（6ページ掲載）のとおり、承認された。以上をもって、北海道電業協会の通常総会を終了した。

引き続き、電設協道支部総会が開催され、支部



表彰者 元永さん（中央）

代表者が出席した。

吉川支部長が議長となり議事を運営し、議案の審議を行った。

第1号議案 平成21年度会務・事業承認について

第2号議案 平成21年度収支決算承認について

第3号議案 平成22年度事業計画（案）承認について

第4号議案 平成22年度収支予算（案）承認について

第5号議案 役員の一部改選について

電業協会役員と一体化のため、別紙（6ページ掲載）のとおり承認された。

以上をもって、電設協道支部の通常総会を終了した。

電業協会・電設協道支部合同懇親会



林 営繕部長



島田 企画調整官



瀧田 建築局長



宮浦 都市局長

両通常総会に引き続き、同ホテルにおいて合同の懇親会が行われた。

吉川会長・支部長の開会挨拶に続いて、ご来賓の祝辞を北海道開発局営繕部長 林 理様、北海道産業保安監督部企画調整官 島田雄二様、北海道建設部からは建築局長の瀧田裕道様よりお言葉をいただきました。

つづいて、(社)日本電設工業会 平井会長からの祝電披露があり、札幌市都市局長 宮浦哲也様のご発声で開会となった。

また、ご来賓として、北海道経済産業局、北海道、札幌市、(社)北海道建築士会、北海道設備設計事務所協会、北海道電気資材卸業協同組合、北海道電力株式会社、(社)北海道電気協会、北海道電気工事業工業組合、札幌電気工事業協同組合、一般社団法人札幌電設業協会など、官庁、業界団体の多数の方々のご出席をいただき、会員の皆さんと終始和やかな懇親が行われ、(社)北海道空調衛生工事業協会会長 池田薫様の中締めでお開きとなった。



通常総会ご挨拶

社団法人北海道電業協会 会長
社団法人日本電設工業協会北海道支部 支部長

吉川 照一

開会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

先ほど、北海道電業協会、ならびに日本電設工業協会北海道支部の平成22年度通常総会が、滞りなく終了いたしました。会員の皆様には、長時間の総会、審議等、大変お疲れ様でした。

本日は、ご来賓として、後ほどご挨拶をいただきます、北海道開発局 林営繕部長様、北海道産業保安監督部 鳥田企画調整官様、北海道建設部 瀧田建築局長様、札幌市 宮浦都市局長様、をはじめ関係官公庁ならびに関係団体の皆様方には、ご多忙の中ご臨席を賜り、誠にありがとうございます。高い席から失礼とは存じますが、この場を借りまして、日頃からのご指導、ご支援につきまして、厚くお礼を申し上げます。

今回は、一部役員の交代がございましたので、先ほど会員の皆様のご承認をいただき、新たな役員体制を整えたところでございます。

また、当協会の平成22年度重点事項として、現在の諸課題を克服し社会に貢献する魅力ある電設業界を目指し、私の後方に掲げてございます4本のスローガンを全会一致で採択したところでございます。現実には種々困難な問題や実態もありますが、健全で持続的な発展を目指していこうという業界の強い意志を表したものです。当協会では、これらを柱とした事業展開を図ることとしており、ご出席の会員はもとより、ご来賓の皆様方のご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。

最近の景況感については、国全体としては、中国・韓国などアジアの経済成長著しい諸国に牽引されて、若干明るい兆しが感じられる状況になってきましたが、極最近のギリシャの財政破たん

に伴う信用不安など、新たな不安定要因も発生しており、不透明感が残ります。

北海道においては、今年度の北海道開発予算の縮減、民間設備投資が回復していない等もあり、未だ景気回復の兆しは乏しいと感じておりますが、早期に回復傾向に移ることを切望するところです。

我々電気工事業界は、特に2年前のリーマンショック発生以降、工事量・価格等で非常に厳しい経営環境に置かれており、今年度の工事量はかなりの低水準になるのではないかと危惧しておりますが、社会生活に不可欠な基盤構築・整備に貢献する重要な役割を担っている業界として、この困難な状況を乗り切る努力を続け、新たな事業展開を図っていくことが、重要なことと思っております。

ご来賓の官公庁の皆様におかれましては、景気回復に向け予算等で種々ご配慮いただいておりますことに深く感謝申し上げますと共に、今後も、当協会の重要な要望事項であります、①分離発注の継続、②入札制度に関する一層の改善 ③環境・リニューアル事業等を中心とする適正工事量の確保について、特段のご配慮を切にお願い申し上げます。

私どもは、今年度も会員相互の信頼と連携の下で、業界が一丸となって、ご来賓の皆様や社会の信頼と評価を頂けるよう努力し、諸課題に前向きに取り組む所存でございますので、ご出席の皆様方の変わらぬご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

本席は限られた時間ではございますが、ご歓談、意見交換などを深めて頂ければ幸いですので、よろしくお願い申し上げます。

本日は、誠にありがとうございます。

社団法人 北海道電業協会活動スローガン

1. 業界の健全で持続的な発展のため、適正な価格・工期での受注を確保し、施工品質と安全性を確立しよう

電気工事業界は、利益率が低い水準の中、コストを無視したダンピング的安値受注が見受けられこれにより結果として、資本力の強い者が弱い者の事業活動を困難とし、最終的にはお客の利益を害する可能性が高い。

又、電気設備工事は建築業者の工程管理に大きく左右され、工程遅れの「しわ寄せ」が工期終盤に大きくのしかかっている。更に需要設備の使用前検査の規制が緩和されたことにより、受電時の完成度のチェックが不十分になる等工期の遅れに影響し、経費の増加、過重労働、現場の安全への問題を生じさせ品質、性能の低下等の弊害をもたらし、企業の健全な発展に問題が生じている。

適正な価格・工期の構築で健全で公正な競争市場の構築をしていく必要がある。

2. 若者が生きがいを持って活躍でき、生涯を託すことが出来る魅力ある電設業界を目指そう

電設業界においては人材が価値の源泉であり、地球温暖化防止対策のための低炭素社会作り等、新たな分野に積極的に取り組んでいくためにも優秀な技術者・技能者の確保育成が不可欠である。団塊の世代が高齢化し技術・技能の継承が問題となっている中で、若者の技術者離れと中途退職者も増加している。このようなことから若者が生きがいをもって活躍できるよう職場環境、チャレンジできる風土を構築することにより電設業界職場に優秀な人材が集まる魅力的職場作りが必要である。

3. 省エネルギー対策の強化とともに、地球と人に優しい再生可能エネルギーの活用を推進しよう

国内の温室効果ガスの排出状況は、約9割が二酸化炭素であり一層の地球温暖化対策の推進のため省エネルギー対策の強化が必要であり、国際的にも削減が求められている。これには受変電・動力・照明設備等に関する高効率機器の採用やIT技術を駆使した省エネ管理システムの利用、太陽光発電や風力発電、地熱等の再生可能エネルギーの活用が不可欠である。ただ地球温暖化の切り札である太陽光などの再生可能エネルギーは、天候の変化で発電量が大幅に減少するリスクもありこうした事態を避けるため次世代送電システム「スマートグリッド」に注目が集まっている。これら新分野は将来に向けて大きな成長が見込まれ電設業界としても、積極的な取り組みが必要である。

4. 対話を通じて顧客ニーズに的確に対応し、電気設備工事の品質と価格の透明性を確保する「分離発注」を強力に推進しよう

電気設備工事は、「電気」を安全かつ効率的に制御、利用、管理するシステム作りを通じ、それ自体独立した高度な専門分野を形成している。このことから我が電設工事業者は利用者便益の確保、資源有効利用、品質の確保等重要と認識している。特に近年の省エネ技術革新の対応、防災設備、IT化への対応等ニーズの多様化の進展が進んでいるところであり、設備の品質とコストとの対応が明確、施主の設備へのニーズが施工に直接反映、責任範囲の透明性等「分離発注」が社会全体の大きな流れとなるよう強力な運動を展開する必要がある。

社団法人 北海道電業協会 役員

(平成22年5月13日現在)

(新任)	会長	吉川照一	北海道電気工事(株)	(総務・広報各委員会担当)	
	副会長	中野章	(株)北弘電社		(経営・厚生各委員会担当)
	〃	山口勉	(株)山口電気機械工務所		
	〃	樋口雄一	(株)関電工	(技術安全委員会担当)	
	専務理事	小川孝樹	(社)北海道電業協会	総務委員長 経営委員長 広報委員長 技術安全委員長 厚生委員長	
	理事	加藤勝利	協信電気工業(株)		
	〃	小野寺涼一	大成電気(株)		
	〃	橋本耕二	橋本電気工事(株)		
	(新任)	〃	岡竹俊和		(株)きんでん
	〃	萩本哲夫	三共電気工業(株)		
	(新任)	〃	清水秀二		東光電気工事(株)
	〃	鈴木暁彦	拓北電業(株)		
	〃	中鉢征	末廣屋電機(株)		
〃	西山陽一	上川電業協会			
〃	松田康明	日本電設工業(株)			
監事	早坂稔	浅海電気(株)			
〃	本間年勝	(株)でんこう			
〃	藤瀬豊國	藤瀬豊國税理士事務所			

社団法人 日本電設工業協会北海道支部 役員

(平成22年5月13日現在)

(新任)	支部長	吉川照一	北海道電気工事(株)	(社)日本電設工業協会	
	副支部長	中野章	(株)北弘電社	(理事)	
	〃	山口勉	(株)山口電気機械工務所	(〃)	
	常議員	小野寺涼一	大成電気(株)	(評議員)	
	〃	加藤勝利	協信電気工業(株)	(〃)	
	〃	清水秀二	東光電気工事(株)	(〃)	
	(新任)	〃	岡竹俊和	(株)きんでん	(〃)
	〃	鈴木暁彦	拓北電業(株)	(〃)	
	〃	中鉢征	末廣屋電機(株)	(〃)	
	〃	松田康明	日本電設工業(株)	(〃)	
	〃	樋口雄一	(株)関電工	(〃)	
	〃	橋本耕二	橋本電気工事(株)	(〃)	
	〃	早坂稔	浅海電気(株)	(〃)	
〃	萩本哲夫	三共電気工業(株)	(〃)		
〃	本間年勝	(株)でんこう	(〃)		
幹事	早坂稔	浅海電気(株)	(〃)		
〃	本間年勝	(株)でんこう	(〃)		
〃	藤瀬豊國	藤瀬豊國税理士事務所	(〃)		

ご 挨拶



社団法人 北海道電業協会
専務理事

小 川 孝 樹

若葉の緑が日ごとにすがすがしく感じられるころ、会員の皆様には、益々ご清

栄のこととお慶び申し上げます。

本年4月から当協会に勤務させていただき、去る5月13日に開催されました第44回通常総会におきまして会員の皆様のご承認を賜り、このたび前専務理事広島維夫の後任として専務理事に就任いたしました小川孝樹でございます。

さて、私事ですが、平成17年に北海道経済産業局を退職後、これまで(財)日本規格協会札幌支部において、国内・国際規格の普及事業や品質管理、品質マネジメントシステム、環境マネジメントシステム等の教育研修事業のほか、JISマーク表示

制度等の適合性認証制度を含む広い意味での工業標準化の普及・推進に係る仕事に従事し、僅かなりとも道内企業の製品品質や技術の向上、品質管理体制の強化・改善等に寄与することができたと感じております。また、このたびは歴史ある当協会です仕事ができますことを大変光栄に思っております。

我が国の経済が穏やかに持ち直しの兆しを見せている中、当協会を取り巻く環境は、長引く北海道経済の景気低迷の影響を受けて非常に厳しい状況にありますが、皆様方のご指導をいただきながら一日も早く業務に慣れ、当協会のさらなる発展に向けて微力ながら全力を尽くしてまいります。会員の皆様には今後とも当協会諸事業の運営に対しまして前任者同様のご協力とお力添えを心からお願い申し上げます。最後になりますが、当協会の益々のご発展と会員皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げます、新任の挨拶とさせていただきます。

法人職務執行者就任ご挨拶



日本リーテック株式会社
北海道営業所 所長

高 山 春 夫

深緑が眩しい候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び

申し上げます。

私はこの度、前北海道支店長 宮部金彦 の後任として北海道営業所 所長に就任いたしました高山春夫 でございます。電業協会及び会員の皆様方には平素より大変お世話になり、心より厚く御礼申し上げます。今後ともご指導、ご鞭撻を賜り当協会の発展と繁栄に微力ではありますが、尽くす所存でございます。前任者同様よろしく願いいたします。

当社は昨年4月に千歳電気工業株式会社と保安

工業株式会社が合併し、商号を日本リーテック株式会社と変更し、今年3月まで北海道支店として営業活動をしておりましたが、4月より北海道営業所として再スタートをする事となりました。北海道の経済環境は厳しい状況が続いており、今年に入り景気回復の兆しと予測されておりますが、政権政党が民主党に変わり公共事業の削減や事業仕分けによる廃止や縮小により、北海道の公共投資は大幅に減少しているのが実態であります。明るい話題と言え、各自治体の光ファイバー網の整備と地球の温暖化対策としてクリーンエネルギーの需要が増加傾向にあるものの、先行きが不透明であります。

この厳しい時代を技術力の向上と発想の転換により乗り越え、協会の益々の発展と会員皆様のご繁栄とご健勝を祈念し、新任の挨拶とさせていただきます。



東光電気工事(株)北海道支社
常務取締役支社長

清水 秀二

深緑の候、会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。私はこの度、4月1日付けで前北海道支社長喜村育英の後任として就任致しました清水秀二でございます。平素は当協会および会員の皆様には大変お世話になり、心より厚く御礼申し上げます。また、皆様のご指導・ご鞭撻を頂きながら協会・業界に最善を尽くす所存でございますので、前任者同様よろしくお願ひ申し上げます。

私は、黄門様・納豆・偕楽園などで有名な、茨城県水戸市の出身です。現在家族は埼玉県に住ん

でおり、単身赴任で北海道に転勤して参りました。それまでの勤務地は、一時期関西にて勤務しましたが、ほとんど関東で活動してきました。

昭和45年に入社以来内線工事に従事し現在に至っております。

当社は大正12年創業で、北海道・東北・中部・関西・九州および首都圏に8支社を配し、電気工事を主力に、情報・通信・防災・計装・空調・衛生を始め、近年は風力・太陽光発電など環境関連工事等の設備工事を幅広く施工しております。

全国的に景気低迷が続いております。特に北海道の経済環境は厳しい状態ではありますが、前向きに取り組んで行きたいと思っております。

最後になりますが、当協会の益々のご発展と会員皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ新任の挨拶とさせていただきます。



(株)でんこう
代表取締役

佐藤 義明

会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、前代表取締役 本間年勝の後任として4月3日付けで代表取締役に就任いたしました佐藤義明でございます。平素は、当協会ならびに会員の皆様にはいつも大変お世話になっておりまして、心より御礼申し上げます。若輩者ではありますが皆様のご御指導ご鞭撻を頂き、業界及び協会の発展に尽くす所存でございますので、何卒宜しくお願ひ致します。

さて、この機会に弊社の事を少しお話させていただきます。

弊社は昭和22年5月に電工社として創立され、北見市にて電気工事業を営んできました。

その後、昭和38年に札幌に本社を移すと共に田中電工株式会社に商号変更、更に平成7年に株式会社でんこうに商号変更し、現在に至っております。その間、様々な苦難もありましたが、弊社のモットーであります「社員の豊かな人生を共に築く企業作り」に則って、社員一同団結してここまで頑張ってきた次第でございます。私で代表取締役は四代目となり、その重責をしっかりと受け止め、職務をまっとうしようと思っております。

現在、北海道経済は過去類を見ない程の経済危機に直面しております。回復の兆しも見えてきた様ではございますが、まだまだ厳しい状況に変わりはありません。

この様な中でも夢と希望を持ち、前向きに取り組んで行きたいと思っております。

最後になりますが、北海道電業協会の益々の発展と会員皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます。

平成22年度 技術・安全衛生基礎教育講習会



この講習会は、新人や入社数年の若手社員への教育を目的に平成4年度から毎年実施されている。今回は11社から22名が受講、(社)日本電設業協会が編さんした新人教育用テキストを用い4月6日(火)～9日(金)の4日間、北海道電気会館において電気設備技術者の基礎を学んだ。

講習会の開会挨拶で、当協会の樋口副会長から「底が見えない経済状況の中、世界的には自然エネルギー・省エネルギーなど環境関連分野が注目されている。広大な土地と優れた自然環境を持つ北海道では風力、バイオエタノールなどの実証実験が積極的に行われ、自然エネルギー研究の基地となる可能性を秘めている。お客さまが求める『高品質で安心・安全な電気設備』の基本となる技術、安全意識と行動力を身につけ、スキル向上に努めて欲しい」と激励された。

当協会の技術安全委員が講師となり、電気設備技術者としての役割や設計・積算の基本、電気工事の施工など技術と安全に関する知識を教えた。受講生は経験豊富な講師陣の講義に真剣に取り組んでいた。

最終日には全員に修了書を広島専務理事から授

与され、「いち早く技術力を身につけ、企業の繁栄・発展に努力されるとともに、それぞれの職場で活躍される事を期待しています。」と閉講の挨拶があり終了した。

終了後に回収された受講レポートには「講師の方々の体験談などをまじえた講義は参考になった」「今後もいろいろな勉強会・講習会に参加したい」など、たくさんの感想が寄せられていた。

《講習内容は次のとおり》

- 【1日目】・電気設備技術者・電気設備概論
・安全衛生教育の必要性
・電気と安全、労働災害の防止
・作業別安全衛生の具体的諸対策
- 【2日目】・受変電設備・材料と工具・発電設備
・構内配線・新エネルギーを利用した電源システム
- 【3日目】・建築電気設備の設計と積算
・照明設備
・配線工事の基本・電気工事の施工
・幹線設備・動力設備
- 【4日目】・監視制御設備・情報通信設備
・防災設備・雷保護システム

平成22年度 1 級学科電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会



平成22年 5 月11日(火)～12日(水)の 2 日間、セントラル札幌北ビル 6 階大ホールにおいて、(社)日本電設工事業協会北海道支部と財団法人地域開発研究所との共催で実施した。今年の受講者は82名が参加し、6 月13日の試験本番に向けて真剣に耳を傾けていた。

講習会のオリエンテーションではまず 1 級電気工事施工管理技士について「建築業法で定められた営業所ごとに置く専任の技術者、工事現場に置く監理技術者、主任技術者となる資格要件」であり、本検定試験の資格取得は、本人は勿論のこと企業にとっても極めて重要な資格となることを説

明された。

講師は、それぞれの分野で活躍されている経験豊富なベテランぞろいで、出題科目の範囲や出題傾向など適切なアドバイスを行った。

6 月の本試験の合格発表は 7 月16日で、合格者は10月17日の実地試験に臨み、来年 2 月 5 日の合格発表で晴れて 1 級電気工事施工管理技士となる。

今年度も全国の受験者数は 2 万人程度が見込まれているが、21年度の 1 級（学科）における合格率は全国平均28.7%で受験生にとっては厳しい狭き門と言える。講師は勿論、業界関係者等は全員の合格を期待している。

【講習プログラム・講師一覧】

	日	程	教 科 目	講 師 名
第 1 日目	5 / 11(火)	午前	9 : 25～12 : 25 (3 H)	電 気 工 学 田 中 英 一 北海道大学大学院情報科学研究科システム情報科学専攻システム総合学研究室助教
		午後	13 : 15～18 : 15 (5 H)	施 工 管 理 等 峯 西 一 樹 大成建設株式会社 札幌支店 建築部 設備室 設備長
第 2 日目	5 / 12(水)	午前	9 : 00～12 : 20 (3 H20M)	法 規 久 保 紘 一 久保技術士事務所所長
		午後	13 : 10～18 : 00 (4 H50M)	構内電気設備 山 端 良 幸 (元)日本電設工業株式会社 常務取締役

平成22年度 安全大会



平成22年度安全大会は、一般社団法人札幌電設業協会と共催で6月9日(水)午後1時30分より北海道電気会館において開催された。

本年も6月1日～30日までを準備期間、7月1日(木)～7日(水)を全国安全週間（スローガン：**みんなで進めようリスクアセスメント めざそう職場の安全・安心**）として実施される。

当日は、両会員企業の経営者をはじめ、現場管理技術者まで183名が参加した。

開会の挨拶で当協会の小川専務理事から「我々の業界を取り巻く環境は極めて厳しい状況にあるが、いかなる環境にあっても安全が第一。安心して働ける環境づくりを労使一体となって確実に進めてほしい」と参加者全員に安全意識の高揚を訴

えた。

安全講話では札幌市都市局日當電気設備課長から、市内の工事事故事例や安全パトロールで見聞きした事例の紹介があり、同様のことがないように指導された。

道警本部の大矢調査官からは交通安全のポイントなどを、具体的な事例を交えて講話をいただいた。

閉会の挨拶で、札幌電設業協会の橋本安全衛生委員長から、ハインリッヒの法則を引き合いに「一切のヒヤリハットを起こさないという気持ちで作業に望んで、経営者と現場が一体となって、安全体制の確立に努めて欲しい」と力強く呼びかけた。



安全講話 日當 雅博 様
(札幌市都市局建築部電気設備課長)



交通安全講話 大矢 雅彦 様
(北海道警察本部交通部交通企画課調査官)



「すてきな笑顔と花のまち」～東神楽町～

東神楽町長 川野恵子



東神楽町は旭川市に隣接し、中央市街地から旭川市中心部まで11km、車で30分弱の距離にあります。また、旭川空港の所在地であり、東京へは1時間45分で結ばれているほか、大阪、名古屋便なども就航しています。

本町は上川盆地の肥沃な土地を活かして農業を基幹産業として発展し、「ゆめぴりか」「きらら397」「ほしのゆめ」などの良食味米を生産する米どころです。また、本町の工業の中心である東神楽工業団地には現在、製造業、卸売業、リース業、運送業など20社以上が立地しており、低迷する経済情勢の中で堅実に操業しています。

本町は昭和18年に神楽町（現在旭川市）から分

村して誕生し、町の人口は昭和24年に7,500人余りを数えましたが、次第に減少し、昭和50年には約5,100人になりました。しかし、平成元年頃から始まったひじり野団地に代表されるような大規模な住宅地開発等により、増加に転じ、平成17年の国勢調査では9,194人となり、人口増加率が13.1%と道内では1番高い市町村となっています。また、本町は人口構成比における0～14歳人口も18.7%と、道内で1番高い数値となっており、転入者の多くは、子育て中の比較的若い世代が多いことが特徴であり、住環境の整備と併せて、子育て支援等に重点をおいたまちづくりを進めています。



■花によるまちづくり

東神楽町は古くから「花のまち」として知られています。昭和30年代に始まった環境衛生運動を発端に昭和40年代に「花いっぱい運動」へと展開し、昭和44年には「花のある職場コンクール」で総理大臣賞を受賞するなど、町内外に花のまち東神楽が知られるようになりました。町では直営で育苗センターを設置し、公共施設周辺や公園、市街地の花壇用の花苗を供給しています。また、町内には町内会ごとに花壇が設置され、地域住民の手により花苗が植えられており、潤いのある生活環境が創造されています。これらの運動の成果が認められ、平成12年には第10回全国花のまちづくりコンクールにおいて最優秀賞の建設大臣賞を受賞するとともに、平成13年にはカナダで開催された国際的な花のまちづくりコンクールに参加しました。



■ひがしかぐら花まつり

毎年、8月の第1土・日曜日に「花のまち東神楽」を町の内外にPRしながら、地域住民の交流を深めることを目的として、義経公園を会場に開催しています。主な内容としては、住民が自らステージでパフォーマンスを発表する町びと楽芸会やフラワーパレード、YOSAKOIソーラン踊りのほか、有名な歌手を招いての歌謡ステージが行われており、本町を代表する最大のイベントになっています。



■ひがしかぐら森林公園

ひがしかぐら森林公園は、多彩なアウトドアライフが楽しめる森林リゾート基地として、700名収容のキャンプ場やコテージ、オートキャンプ場のほか、サイクルモノレールなどの遊具や乗馬が楽しめるホースカンパニーなどがあります。また、パークゴルフ場は6コース・54ホールあり、丘の起伏と池や岩を利用したダイナミックなコースとなっています。さらに、3棟の屋内ドームには、27ホール・全長683mがレイアウトされており、真冬でも天然芝で快適なプレーが堪能できます。



■森のゆ花神楽

自然豊かな森林公園内に立地し、心癒される空間となっている天然温泉「森のゆ花神楽」。館内には石造りの大浴場やサウナ、大雪山が一望できる露天風呂のほか、地場の素材を活かした料理が自慢のレストランやリラクゼーションルームを完備しています。

詳しくは、東神楽町ホームページをご覧ください。

<http://www.town.higashikagura.hokkaido.jp/>



「森と大地の夢を育むまち」～厚沢部町～

厚沢部町長 渋田正己



太鼓山山頂から見た厚沢部市街地

★町勢

町の概要



北海道の南部、渡島半島の日本海側に位置する厚沢部町は総面積460.42km²東西約29km南北約27kmの広がりを持ち町域は、扇形の形状をなしています。まちの中央には国道227号が東西に延び、車では函館から約1時間15分、札幌からは約

4時間30分となっています。

★メイクイン発祥の地

初夏を迎えると厚沢部町の大地は、メイクインの花々に彩られます。厚沢部町の風物詩ともいえる広大なメイクイン畑ですが、はじめてメイクインが試作されたのは大正14年のこと。その後研究が進められるとともに厚沢部町はメイクインの適地として栽培が広がり、全国でも有数の産地となりました。メイクイン発祥の地として古くから農業の営みが続けられてきた厚沢部町では、現在も農業を基幹産業として安全で良質な農産物づくりに取り組んでいます。



★マイナスイオンで心を浄化

豊かで貴重な森の樹々がやさしく語りかけてくれる「土橋自然観察教育林（レクの森）」は、森林と身近にふれあえる空間として訪れる人々に自然の素晴らしさを伝えています。また、檜山管内初のオートキャンプ場として平成11年にオープンし、ファミリーで気軽にキャンプを楽しめ、道南を代表するアウトドアの拠点として親しまれているのが「鶉ダムオートキャンプ場・ハチャムの森」です。厚沢部町の自然体験空間として思う存分に森の魅力を満喫できるのが「レクの森」と「ハチャムの森」。清らかな自然の素晴らしさに、肌でふれてみてください。



★芋焼酎・「喜多里」

厚沢部のメイクイン栽培技術に着目した札幌酒精工業(株)が、平成15年から焼酎用のさつまいもの試験栽培に着手し、契約農家と共同で研究を重ねた結果「北海道では不可能」といわれたさつまいもの本格栽培を実現しました。厚沢部町のきれいな水やさつまいも栽培を可能にした温暖な気候が焼酎造りに適していたことから、町内鶉に札幌酒精工業(株)厚沢部工場を建設しました。

初の北海道産本格芋焼酎（乙類）は、やわらかな芋の香り漂うさらりとした飲み口で、町内はもとより、道内各地で人気を博しています。



★館城

明治元年（1868）8月下旬、松前藩は根拠地を福山（現松前町）から厚沢部の「館」に移すことを決断します。築城作業は突貫工事で進められ、10月下旬頃には一応の完成をみたようです。11月3日には藩主徳広が福山城から館城へと移動しました。その頃、森町鷲ノ木に上陸した旧幕府軍は、すでに五稜郭を占領し、さらに福山城にも激しい攻撃を加え落城させていました。11月15日、旧幕府軍の館城攻撃が開始されました。今井興之丞、三上超順ら松前藩重臣が相次いで戦死する激しい戦いの末、館城は落城しました。その後、館城周辺は農地として利用されてきましたが、北海道における幕末維新期の情勢や、松前氏の歴史を知る上で重要と判断され、平成14年に国の史跡指定を受けました。現在、町では史跡整備事業を進めています。



★あさぶふるさと夏まつり

7月はイベント真っ盛り。中でも毎年、ユニークな試みで楽しませるこのまつり。平成16年からは町内産メイクインを使った巨大コロッケが登場。昨年度はメイクイン180kg、総重量250kg、直径2.1mの世界最大のコロッケです。250ℓの油で揚げる様子は圧巻です。そのほかにも世界のクワガタ・カブトムシ展が行われるなど、子供たちにも大人気となっています。次はどんなイベントが飛び出すか、町民も楽しみにしています。



★ちょっと暮らし住宅

田舎暮らしには憧れるけど、移住に踏み切るのには、なかなか勇気がいるもの。そこで今年2月に4棟の住宅が完成し、田舎暮らしがお試しできるうれしいプランが厚沢部町に誕生しました。一軒家を丸ごと貸し切って、まるで我が家のように生活してみませんか。是非、厚沢部町で暮らししてみてください。

※お問い合わせ先は、下記の素敵な過疎づくり株式会社のちょっと暮らしナビセンターです。



左は、趣味や生きがいと共に暮らせる「アトリエ」や「土間」のある家A棟

右は、自然と共に心豊かに暮らす場所、テラス&デッキで家族団らんB棟



左は、広大な緑のロケーションとゆとりの和空間に浸れる住宅C棟

右は、原野に建つ存在感のある住宅、家庭菜園のスペースも充実D棟



★移住・交流ワンストップ窓口

「素敵な過疎づくり株式会社」

過疎化が課題となっている中で、厚沢部町では「世界一素敵な過疎のまち」をスローガンに掲げ、町の魅力を高め、その情報を発信し、都市部と交流することによって、移住・交流を促進させ、移住者の獲得に繋げていく施策を行っています。平成21年3月には、「素敵な過疎のまちづくり基本条例」を制定し、同年9月に会社を設立。今後これらの取り組みをさらに進めていくために、町で行っている移住体験の情報や町の住民の様子、暮らしに役立つ情報などを、より分かりやすい形で提供します。

厚沢部町で移住体験してみませんか？

世界一素敵な過疎のまち

北海道厚沢部町での「ちょっと暮らし」をレポートします！

詳細はこちらから - <http://www.sutekinakaso.com>

お問い合わせ ちょっと暮らしナビセンター

☎0139-64-2022 受付時間：09～17:00 (土・日・祭日も休)

E-mail: info@sutekinakaso.com

素敵な過疎づくり株式会社 〒104-1113 北海道厚沢部町厚沢部307

★ちょっと暮らしナビセンターは、素敵な過疎づくり株式会社が、厚沢部町からの委託を受けて運営しています。

現場からこんにちは

工事名称：国庫補助事業 8・4・35 仮称札幌駅前
通公共地下歩道新設工事

発注者：札幌市

区間：地下鉄南北線さっぽろ駅～大通駅

工期：平成21年2月～平成23年3月

延長：約300m

幅員：20m（歩行空間12m＋憩いの空間4m
×2）

規模：RC造 地下1階 延床面積11,390㎡
地上出入口8ヶ所、スルーホール6ヶ所

設計管理：株式会社山道設備設計事務所

《 工事概要 》

引込設備・動力設備・受変電設備・接地設備・
直流電源設備・交流無停電電源設備・幹線設備・
電灯設備・融雪設備、監視カメラ設備・拡声設備
・構内交換設備・無線通信補助設備・呼出設備、
自動火災報知設備・自動閉鎖設備・中央監視設備
・入退室監視設備・情報表示設備・誘導支援設備
・テレビ共同受信設備

【受変電・動力設備工事】

北弘電・北電力特定共同企業体

【電灯設備工事】

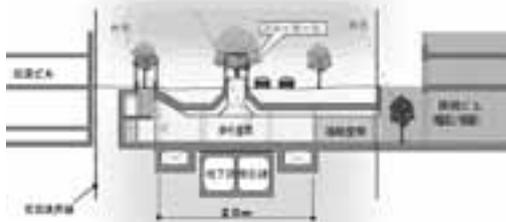
三共・ドウデン・北明特定共同企業体

【監視カメラ・放送設備工事】

協信・大成特定共同企業体

【防災・中央監視設備工事】

拓北電業株式会社



この事業は、地下鉄南北線さっぽろ駅と大通駅
間（総延長680m）を地下歩道で結び、札幌駅周
辺地区と大通地区で二極化している都心商業圏の
回遊性を高め、年間を通じて安全で快適な歩行空
間を確保しようとするものです。

また、沿道ビルとの地下接続や多様な活用を行
うことにより、人々が憩い楽しめる空間を創出

し、都心全体の魅力と活力の向上を図ろうとする
ものです。

これにより、季節や天候に左右されず、お年寄
りや車椅子の方など誰もが安全・快適に移動でき
る、バリアフリーな歩行空間ができます。また、
札幌駅周辺地区と大通・すすきの地区の行き来が
しやすくなり、都心の活性化など大きな効果が期
待できるとのことです。

このうち札幌市は北3条西3丁目から国道12号
線まで、約300mの整備を担当しています。



取材当日の現場の状況は、土木による躯体工事
がほぼ終了しており、広々として非常にきれいな
印象を受けました。天井には電灯・幹線・弱電用
のケーブルラックや空調ダクトなどの設備がびっ
しり整然と敷設されており、6月以降に建築工事
にて内装及び天井内に隠蔽されてしまう前の貴重
な状態を拝見することが出来ました。安全面にお
いても、現場への出入りや場内の環境整備が徹底
されており、現入される職員や作業員の施工に非
常に配慮された現場だと感じました。

各設備毎に作業の進み具合は異なるため、5月
末現在で受変電・動力設備は約70%、電灯設備は
約40%、監視カメラ・放送設備並びに防災・中央監
視設備は約10%の進捗状況だとお聞きしました。

来年3月の竣工に向けてこれからますますお忙
しくなることと思われませんが、無事故・無災害で
素晴らしい地下空間が完成することを期待してお
ります。

取材 広報委員 井草 貴弘（ダイダン）
菊地 大（協信電気）



左から 山崎所長（拓北電業）、小川所長（協信電気工業）、
松岡所長（三共電気工業）、中町所長（北弘電社）

厚生委員会行事報告



第1回大会 スタート前

第1回ゴルフ会 平成22年5月19日(水) 札幌国際CC 参加者34名

順位	氏名	会社名	OUT	IN	GROSS	HC	NET
優勝	中野 章	北弘電社	43	41	84	10	74
準優勝	深田 哲	トーエネック	45	42	87	12	75
1位	桜間 仁敏	北海道古川	41	43	84	8	76
2位	中川 渉	北海道ジーエス・ユアサ	51	45	96	20	76
3位	庄田 修身	タカラ電建	50	46	96	20	76
4位	山口 邦治	山口電気	53	45	98	22	76
5位	柳 富美夫	能美防災	45	52	97	20	77
6位	舘野 誠司	フジクラ・ダイヤ	53	57	110	32	78
7位	稲津 亘	北盛電設	48	48	96	17	79
8位	橋本 佳明	橋本電気	53	54	107	28	79
9位	矢田 彰	北弘電社	46	44	90	10	80
10位	大久保之彦	北海電気工事	46	44	90	10	80

(特別賞)

B	G	中野 章	(北弘電社)
B	G	桜間仁敏	(北海道古川)
平	和	賞	杉本照夫 (ドウデン)
大	波	賞	小林勇治 (三共電気)
小	波	賞	住本邦裕 (道タツヲ)
B	B	賞	齊藤昌敏 (北工電気)
ラ	ッ	賞	佐久間忠信 (北明電気)
N	P	賞	深田 哲 (トーエネック)
N	P	賞	桜間仁敏 (北海道古川)
N	P	賞	中川 渉 (ジーエス・ユアサ) × 2
N	P	賞	矢田 彰 (北弘電社)
N	P	賞	渡辺広史 (東光電気)
N	P	賞	川口 誠 (エミヤ)



第1回大会優勝者 中野副会長

第2回ゴルフ会 平成22年6月17日(木) 札幌南CC 参加者31名

順位	氏名	会社名	OUT	IN	GROSS	HC	NET
優勝	稲津 亘	北盛電設	43	41	84	17	67
準優勝	樋口 雄一	関電工	53	49	102	31	71
1位	松原 一朗	北明電気	38	38	76	4	72
2位	川口 誠	エミヤ	41	49	90	18	72
3位	三井 尚	札幌日信	45	46	91	19	72
4位	加藤 定義	北盛電設	47	48	95	23	72
5位	豊 友祐	北札幌電設	42	46	88	14	74
6位	橋本 佳明	橋本電気	53	49	102	28	74
7位	中村 好宏	旭日電気	44	44	88	12	76
8位	庄田 修身	タカラ電建	46	50	96	20	76
9位	枝並 秀喜	電業協会	43	44	87	10	77
10位	坂口 興次	ドウデン	50	47	97	20	77

(特別賞)

B	G	松原一朗	(北明電気)
平	和	賞	住本邦裕 (道タツヲ)
大	波	賞	鈴木暁彦 (拓北電業)
小	波	賞	中上一民 (サンテック)
B	B	賞	石田啓二 (月寒製作所)
ラ	ッ	賞	今坂制意 (ジーエス・ユアサ)
N	P	賞	川口 誠 (エミヤ)
N	P	賞	三井 尚 (札幌日信)
N	P	賞	桜間仁敏 (北海道古川)
N	P	賞	中川 渉 (ジーエス・ユアサ)
N	P	賞	吉田 勇 (東邦電設)
N	P	賞	小野寺涼一 (大成電気) × 2
N	P	賞	小林勇治 (三共電気)



第2回大会優勝者 稲津さん(右) 山口副会長(左)

顧問会

平成22年5月10日(月)午後5時から、ほくでん北二条クラブにおいて、今年度の顧問会を開催した。当日は野尻武彦顧問と当協会からは、吉川会長、中野、山口、樋口副会長、広島専務理事等が出席した。

最初に吉川会長から挨拶があり、常日頃から当協会運営に対してご理解・ご支援に謝辞を述べられた後、当協会の現状について説明した。

引続き、事務局から5月13日開催予定の通常総会の議案書に基づき、21年度事業報告、新役員(案)などについて報告。

野尻顧問からは、今後の協会運営に対して貴重なご意見やご提言をいただき、今後の活動の一助とすることにしました。このあと、懇談会に入り、いつもながらの時事放談や健康談義に花が咲き、和やかなうちにお開きとなった。



業界だより

○会員代表者の変更

- ・東光電気工事(株)北海道支社
(新) 支社長 清水 秀二
(旧) 〃 喜村 育英
- ・日本リーテック(株)北海道営業所
(新) 営業所長 高山 春夫
(旧) 〃 宮部 金彦
- ・(株)でんこう
(新) 代表取締役 佐藤 義明
(旧) 〃 本間 年勝
- ・日比谷総合設備(株)札幌支店
(新) 支店長 甲谷 努
(旧) 〃 新村 誠

○法人職務執行者の変更

- ・末廣屋電機(株)札幌支店
(新) 支店長 国兼 勝見
(旧) 専務取締役 中鉢 征

- ・北札幌電設(株) 6月1日付
(新) 常務取締役 東海林繁男
(旧) 〃 河合 満雄

○法人職務執行者の変更と住所変更

- ・(株)つうけん 4月1日付
(新) フィールドエンジニアリング事業部
執行役員事業部長 玄長 道和
(旧) 〃
取締役事業部長 白髪 博司
(新住所) 003-0026
札幌市白石区本通19丁目南6-8
電話 011-518-1192
FAX 011-532-0582

○住所変更

- ・大成電気(株) 5月6日付
(新住所) 007-0834
札幌市東区北34条東22丁目1-35
電話 011-789-1501
FAX 011-789-1515

理事会・委員会報告

理 事 会

◇平成22年4月28日(水) 12:00~13:30

第1回議題

【協議事項】

1. 協会役員等の選任対応について
2. 電業協会第44回通常総会付議事項について
3. 電設協道支部第54回通常総会付議事項について
4. 通常総会へ向けた今後のスケジュールについて
5. 通常総会、懇親会の運営・進行について
6. 通常総会の会員、ご来賓への案内について
7. 支部会員の退会について
8. 役員会等の日程について

【報告事項】

1. 会員代表者、法人職務執行者の変更について
2. 平成22年度技術安全衛生基礎教育講習会開催結果について
3. 顧問会の開催について
4. 日本電設工業協会等定時総会の案内について
5. 北海道電気資材卸業協同組合通常総会、懇親会案内について
6. 日本電気協会北海道電気協会総会、懇親会案内について
7. 北海道に対する登録電気基幹技能者有効活用に関する要請について
8. 平成22年4月~5月行事予定について
9. その他意見交換

◇平成22年6月21日(月) 12:00~13:30

第2回議題

【協議事項】

1. 役員、常設委員会等の選任対応(案)について
2. 平成22年常設委員会委員等の変更について

3. 役員会等今後の日程について

【報告事項】

1. 本部280回運営委員会開催概要について
2. 本部231回政策委員会開催概要について
3. 北海道の営繕工事における総合評価方式説明会概要について
4. 平成22年度安全大会の開催概要について
5. 平成22年度北海道の建築工事に係る合同研修会について
6. 建設産業専門団体連合会と北海道開発局との意見交換会について
7. 平成22年度赤レンガ建築賞実行委員会の開催について
8. 平成22年度札幌市電気設備施工研修会の開催について
9. 技術系学校教諭・学生等との現場見学会開催について
10. 平成22年度「公共建築の日」及び「公共建築月間」の後援依頼
11. 本部・支部事務連絡会議の開催について
12. 平成22年度会員大会決議項目の提出について
13. 会員代表者、法人職務執行者の変更について
14. 平成22年6月~7月行事予定について
15. その他 意見交換

|| 三 役 会

◇平成22年4月16日(金) 12:00~13:30

第1回議題

1. 協会役員の選任対応について
 2. 日本電設工業協会（本部）の役員対応
 3. 協会・道支部通常総会に向けての今後のスケジュール等
 4. 第44回・54回通常総会（電業協会、北海道支部）の進行
 5. 通常総会の会員、ご来賓への案内等
 6. 平成21年度決算監査
 7. 支部会員の退会
 8. 顧問会議の開催
 9. 第44回・54回通常総会議案集（電業協会、北海道支部）
 10. 会員代表者、法人職務執行者等の変更
 11. 平成22年度技術・安全衛生基礎教育講習会の開催結果
 12. 日本電設工業協会の通常総会のご案内
 13. 札幌電設業協会等定時総会の案内
 14. 平成22年4月～5月行事予定
 15. その他意見交換
2. 本部231回政策委員会開催概要（経営委員会報告を含む）
 3. 北海道の営繕工事における総合評価方式説明会開催概要
 4. 平成22年度安全大会の開催
 5. 平成22年度赤レンガ建築賞実行委員会の開催
 6. 建専連本部と北海道開発局との意見交換会の開催
 7. 平成22年度北海道の建築工事に係る合同研修会の開催
 8. 会員代表者、法人職務執行者の変更
 9. 平成22年6月～7月予定
 10. その他報告事項
 - ① 2011年電気関係（3団体）賀詞交歓会
 - ② 2011年度北海道電業協会通常総会
 - ③ 本部2010年度行事予定の一部変更（資材委員会）
 11. その他意見交換
平成22年度「公共建築の日」及び「公共建築月間」の記念イベント事業における後援の依頼

◇平成22年5月10日(火) 15:30~16:40

ほくでん北二条クラブ 会議室

第2回議題

1. 第44回・54回通常総会（電業協会、北海道支部）の運営・進行要領等
2. 通常総会・懇親会の運営・ご来賓出席者等
3. ホテルニューオータニとの打ち合わせ等
4. 平成22年度登録基幹技能者講習会の案内
5. 関係団体等の総会開催
6. 支部会員の退会
7. 平成22年5月～6月行事予定
8. その他意見交換

◇平成22年6月7日(月) 12:00~13:30

第3回議題

1. 役員、常設委員会等の選任対応（案）

総務委員会

◇平成22年6月23日(水) 12:00~13:30

第1回議題

1. 平成22年度総務委員会委員
2. 平成22年度総務委員会事業実施計画(案)
3. 常設委員会・部会の構成
4. 北海道防衛局への対応
5. 平成22年度北海道の建築工事に係わる合同研修会
6. 本部理事会開催概要
7. 平成22年度技術安全衛生基礎教育講習会開催概要
8. 平成22年度安全大会、札幌市電気設備施工研修会
9. 本部・支部事務連絡会議の開催
10. 道建専連と開発局との意見交換会
11. 平成22年度会員大会決議項目の提出
12. 役員会など今後の日程
13. 会員代表者、法人職務執行者の変更
14. その他意見交換

経営委員会

◇平成22年6月2日(水) 12:00~13:30

第1回議題

1. 平成22年度経営委員会委員名簿
2. 第5回議事録(案)の承認
3. 平成22年度経営委員会事業計画(案)
4. 電設協第231回政策委員会開催概要
5. 北海道建設部建築局の営繕工事における総合評価方式の摘要に係る説明会
6. その他意見交換

広報委員会

◇平成22年6月23日(水) 15:00~17:00

第1回議題

1. 平成22年度広報委員会委員
2. 平成22年度事業実施計画

3. 会報「秋号」編集方針
4. 会報「夏号」校正
5. 新春特集
6. その他意見交換

技術安全委員会

◇平成22年6月14日(月) 12:00~13:30

第1回議題

1. 平成22年度 技術安全委員会委員
2. 平成22年度 事業計画(案)
3. 実施報告
 - ・平成22年度技術・安全基礎教育講習会
 - ・平成22年度1級学科電気工事施工管理技術検定試験「受験準備講習会」
4. 平成22年度 安全大会の開催
5. 札幌市電気設備施工研修会の開催
6. 平成22年度登録電気工事基幹技能者特例講習会
7. 電気工事現場見学会の開催日程・見学先
 - ・技術系学校教諭との見学会、懇談会
 - ・技術系学校学生との見学会
 - ・協会の現場見学会
8. 技術講習会テーマ選定
9. 平成22年度登録電気工事基幹技能者認定講習会の開催、日程
10. 工事現場安全パトロールの開催、日程
11. その他意見交換

厚生委員会

◇平成22年6月10日(金) 12:00~13:30

第1回議題

1. 平成22年度 厚生委員会委員
2. 平成22年度 部会実施計画
3. 平成22年度予算
4. その他意見交換

事務局日誌

4月6日(火)～9日(金)

・技術安全基礎教育講習会

16日(金)・第1回三役会議

19日(月)・総会監事監査

22日(木)・本部運営委員会 吉川支部長

・札幌電設業協会総会・懇親会

広島専務

23日(金)・本部理事会 吉川支部長

28日(水)・第1回理事会・常議員会

5月10日(月)・第2回三役会議

・顧問会議

11日(火)・平成22年度1級学科電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会～12日(水)

(セントラル札幌北ビル)

・日本電設工業協会第60回通常総会

吉川会長ほか

13日(木)・第44回北海道電業協会通常総会

・第54回電設協北海道支部通常総会

・同上合同懇親会

(ホテルニューオータニ札幌)

19日(水)・第1回ゴルフコンペ

(札幌国際CC)

20日(木)・本部政策委員会 (231回)

山口副会長

25日(火)・日本電気協会総会・懇親会

枝並事務局長

6月2日(水)・第1回経営委員会

4日(金)・建災防札幌分会役員会・総会

全日空ホテル 小川専務理事

・建専連総会・懇親会

第一ホテル 小川専務理事他

7日(月)・第3回三役会議

9日(水)・平成22年度安全大会

(電気会館)

・道赤レンガ建築賞実行委員会

10日(木)・本部運営委員会

吉川支部長

・第1回厚生委員会

14日(月)・第1回技術安全委員会

17日(木)・第2回ゴルフコンペ (札幌南)

・電力活用札幌地区協議会

役員会・定時総会・記念講演

小川専務理事

21日(月)・第2回理事会・常議員会

22日(火)・道電気工事組合総会

山口副会長ほか

23日(水)・第1回総務委員会

・第1回広報委員会

24日(木)・業界団体連絡協議会総会・懇親会

小川専務理事

編集後記

昨年9月に誕生した民主党“鳩山内閣”がわずか8ヶ月で崩壊し、新たに“菅内閣”が発足いたしました。めまぐるしく国家のトップが交代し続けるわが日本国は他の諸国からどのように見られているのでしょうか。国際社会の中で議論する他国の相手は“カウンターパート”とあって、同じ立場の方に限られます。その“カウンターパート”がころころと変わるようでは“筋道の通った、将来にわたる信頼”の議論にはならないように思います。

このたびは、弊協会機関紙「夏号」にご寄稿いただきました宮浦哲也札幌市都市局長様におかれましては、公務多忙にも拘わりませず「電業」への思いをお寄せいただきまして誠にありがとうございました。お父上の仕事を通しての地域とのつながりやご一緒されたときの古きよき時代の仕事ぶりが目に浮かぶようであります。

宮浦様が我々のカウンターパートとはおこがましい事ではありますが、お父上の仕事を通して“我々の業界事情”をお知り戴いておられることに大変勇気付けられるところでございます。

まだまだ厳しい状況が続く現状ではありますが、我々に課せられた使命を認識し、自助努力の積み重ねと共存共栄を図りながら頑張ってまいりたいものであります。

最後になりますが、会員皆様方の更なるご活躍をご祈念いたしまして編集後記とさせていただきます。

広報委員長 橋本 耕二

平成22年度 広報委員会委員

担当副会長	中野 章 (北弘電)	委 員	大塚 雅史 (北盛)
委員長	橋本 耕二 (橋本)	〃	和田 隆幸 (東邦電気)
副委員長	嶋津 博 (島津)	〃	坂本 桂一 (きんでん)
副委員長	鷹 觜 克夫 (ドウデン)	〃	藤井 貴史 (北海)
委 員	佐々木 恵 (浅海)	〃	松岡 孝夫 (三新)
〃	内川 勝哉 (北弘電)	〃	長谷川 政幸 (道タツヲ)
〃	菊地 大 (協信)	〃	井草 貴弘 (ダイダン)



発行 平成22年7月
社団法人 北海道電業協会
札幌市中央区南1条東1丁目3番地
パークイースト札幌6階
TEL (011)271-2932
FAX (011)271-2952
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp